

01 Seinendan

青年団「上野動物園再々襲撃」

02 Yamanote Jijohsha

山の手事情社「平成・円朝・牡丹燈籠」



03 Zenchiku Kyogenkai

善竹狂言会「空腕」「花折」



04 Ku Na'uka

ク・ナウカ「マクベス」



05 Teatro Malandro

テアトロ・マランドロ「バッコスの信女」



06 Yanagiya Karoku

柳家花緑「長屋の花見」「愛宕山」

TOGA SPRING ARTS FESTIVAL 2001

利賀^{はるの}・新緑フェスティバル2001 2001.4.28/SAT~5.5/SAT

富山県利賀芸術公園 <http://www.nsknet.or.jp/togapk/>

主催／(財)舞台芸術財団演劇人会議 企画・運営／(財)舞台芸術財団演劇人会議、[P4]事務局 共催・後援／(財)富山県文化振興財団、富山県、富山県教育委員会、利賀村、利賀村教育委員会
お問い合わせ／[利賀事務所] 0763-68-2356 & 2216 (4/7より) [東京事務所] 03-3951-4843 (4/6まで)

富山県利賀村は、舞台芸術の創造の「場」として、世界各国のパフォーミング・アーティストに広く知られています。それは、国際的に活躍する2人の芸術家、鈴木忠志と磯崎新（建築家）が共同して、20年以上にわたって築きあげてきた創造的な環境——合掌造りの民家を改造した利賀山房、池に面したギリシア風の野外劇場、八角形のスタジオ、そして合掌造りの新利賀山房などの劇場群——のすばらしさによっています。日本ではじめての世界演劇祭として1982年から毎夏開催されてきた「利賀フェスティバル」は、2000年より「サマー・アーツ・プログラム」に引き継がれ、輝かしい伝統ののちとった新しい試みとして展開しています。そして新世紀のスタートを飾るのは、今年7回目を迎えるこの「利賀・新緑（はるの）フェスティバル」です。1995年の第1回以来、①演劇でしかできないことをやる、②演劇史に新たな様式を提出する、③それらを劇団活動を通じて実現する、を標榜する【P4】（ピーフォー）が意欲的な作品を発表し続けてきました。みずみずしい新緑の利賀で、舞台芸術の豊かさに満ちたプログラムを今年もおたのしみください。

フェスティバル・ディレクター / 安田雅弘

01 Seinendan 「上野動物園再々襲撃」

青年団／原作 金杉忠男 脚本・構成・演出 平田オリザ

友人の葬式の帰り道、小学校の同窓生たちが動物園からくたを盗み出して、かつてのクラスのマドンナをそれに乗せようと画策する。人生の深い悲しみと小さな希望がコミカルに描かれる。故・金杉忠男が上演を計画していた遺稿と名作「上野動物園再襲撃」をベースに、金杉と深い親交があった平田オリザが書き下ろす新作。

04 Ku Na'uka 「マクベス」

ク・ナウカ／構成・演出 宮城 聡

マクベスを破滅に追い込んだ魔女たちとは何の比喩なのか？ マクベスは何から復讐されたのか？ シェイクスピアの悲劇中もっとも緊密な構成とスピーディな展開を持つ傑作を大胆な解釈で読み解く。マクベス以外をすべて女優が演じる挑発的なステージ。ク・ナウカが容赦なく描き出す、神なき時代の「マクベス」。

02 Yamanote Jijohsha 「平成・円朝・牡丹燈籠」

山の手事情社／構成・演出 安田雅弘

浪人萩原新三郎と旗本の娘お露は恋に落ちるが、すぐにお露は病死してしまう。新三郎のもとに、夜毎、牡丹燈籠を持ったお露が通う。夜道に響き渡る下駄の音。三遊亭円朝(1839-1900)のすぐれた創意により生み出された古典落語作品が、山の手事情社の先鋭的な表現手法により、現代演劇としてよみがえる。

05 Teatro Malandro 「バッコスの信女」

テアトロ・マランドロ／演出 オマール・ポラス

酒神バッコスはアジア各地を遍歴し、その民を自らの教えに従わせた後、ギリシャの町テーバイへやってくる。しかし王ペンテウスは、神を認めようとしないう。狂信が引き起こす対立と流血。スイスを拠点にヨーロッパを戦慄させた気鋭のカンパニーが、ギリシャ悲劇の傑作をたずさえて利賀の野外劇場に挑む。

03 Zenchiku Kyogenkai 「空腕」「花折」

善竹狂言会

大藏流狂言が利賀・新緑フェスティバルに初登場。意欲的な2つの演目を披露する。仕方話の技法が光る「空腕」。寺に咲いたみごとな桜をめぐる、新緑の季節にふさわしい「花折」。さらに狂言独自の表現を解説し、お客さまに実際に体験していただくワークショップも加えた充実のプログラム。

06 Yanagiya Karoku 「長屋の花見」「愛宕山」

柳家花緑

戦後最年少で真打ちに昇進し、落語以外にも多方面で活躍する柳家花緑。利賀・新緑フェスティバルへの二度目の登場は、待望の独演会となる。演目はおなじみ「長屋の花見」と「愛宕山」。祖父・柳家小さん仕込みの本格派の古典芸能が、古民家をうかがわせる利賀山房という絶好の場を得て、江戸文化のたぐいまれな宝をつくり出す。

●シンポジウム1／シンポジウム2

演出家と出演者らが、上演作品について、その成果と問題点を徹底的に問われるスリングな知的バトル。1では青年団、山の手事情社、善竹狂言会の舞台を中心に。2ではク・ナウカ、テアトロ・マランドロ、柳家花緑の舞台を中心に。

■トーク&パフォーマンス「山姥伝説考〜山の女をめぐる物語」／コーディネーター＝石川利江 講師＝小松和彦(国際日本文化研究センター教授)

民話や能・歌舞伎に登場する山姥の姿からは、女性芸能者、山の民、巫女といった存在をかいま見ることができる。研究者による白熱したトーク&パフォーマンスにより〈隠された日本史〉を探る。

▲ネクスト・リーダーズ・キャンプ

過去、多くの芸術集団の代表者が参加し、知識と交流を深めた「若い演劇人のための集中講座」がバージョンアップ。今年は21世紀を担う若手演劇人たち自らの企画で徹底討論。劇団運営、地域交流、助成金、作品の質的向上……。ここでの成果が日本現代演劇を変える。(※応募詳細はお問い合わせください)

	4/28 [sat]	4/29 [sun]	4/30 [mon]	5/1 [tue]	5/2 [wed]	5/3 [thu]	5/4 [fri]	5/5 [sat]
利賀山房	4:00 「上野動物園再々襲撃」 ●青年団	6:00 「上野動物園再々襲撃」 ●青年団	6:00 「上野動物園再々襲撃」 ●青年団				2:00 トーク&パフォーマンス 「山姥伝説考」	4:00 「長屋の花見」「愛宕山」 ●柳家花緑
新利賀山房		2:00 狂言ワークショップ	4:00 「空腕」「花折」 ●善竹狂言会			6:00 「マクベス」 ●ク・ナウカ		6:00 「マクベス」 ●ク・ナウカ
スタジオ	6:00 「平成・円朝・牡丹燈籠」 ●山の手事情社	4:00 「平成・円朝・牡丹燈籠」 ●山の手事情社	1:00 シンポジウム1			4:00 「平成・円朝・牡丹燈籠」 ●山の手事情社	4:00 「平成・円朝・牡丹燈籠」 ●山の手事情社	1:00 シンポジウム2
野外劇場							7:00 「バッコスの信女」 ●テアトロ・マランドロ	
他の企画	ネクスト・リーダーズ・キャンプ							

チケット発売

- 予約開始＝4月10日(火)
 - (財)舞台芸術財団演劇人会議 0763-68-2216(平日 9:00～17:00 土・日 9:00～13:00)
 - チケットぴあ 03-5237-9988 & 9999/06-6363-9999/052-320-9999
 - インフォマート 0764-91-0110
 - 富山大学生協 0764-31-4259
- *当日券はございません。*会場へはチケットのご予約順に入場していただきます。

料金

- 各プログラム＝3,000円 テアトロ・マランドロ「バッコスの信女」＝4,000円
- 狂言ワークショップおよびトーク&パフォーマンス「山姥伝説考」＝1,500円
- シンポジウム＝無料
- 「ネクスト・リーダーズ・キャンプ」参加費＝10,000円

宿泊

- 予約開始＝4月11日(水) *宿泊のご予約はチケットご予約後にお願いいたします。(平日9:00～17:00)
- 民宿・ホテルのご予約＝利賀村商工会
Phone 0763-68-2527 Fax.0763-68-2626 〒939-2507 富山県東砺波郡利賀村利賀89
- キャンプ場のご予約＝ 利賀国際キャンプ場
Phone 0763-68-2556 Fax.0763-68-2709 〒939-2513 富山県東砺波郡利賀村上百瀬

交通

- [電車では] ●JR高山本線「越中八尾駅」より利賀村営バス(約1時間/1,000円)
- JR北陸本線「高岡駅」より加越能バスで「井波町」下車(約50分/750円)、利賀村営バスに乗り継ぎ(約1時間/1,000円)
- [飛行機では] ●富山空港よりタクシー(約1時間/約12,000円)
- 富山空港よりリムジンバスで「富山駅」下車(約30分/410円)、JR高山本線で「越中八尾駅」下車(約20分/320円)、利賀村営バスに乗り継ぎ(約1時間/1,000円)
- [自動車では] ●北陸自動車道「砺波IC」より(約1時間/約35km)または「富山IC」より(約1時間/約38km)
- 東海北陸自動車道「福光IC」より(約1時間/約40km)

利賀村営バス

- 越中八尾駅発→会場着 11:05→12:08 16:55→17:58
- 井波町発→会場着 11:10→12:08 17:00→17:58
- 会場発→越中八尾駅着 7:19→ 8:25 13:17→14:20
- 会場発→井波町着 7:19→ 8:20 13:17→14:15

*2001年3月現在の運行時刻です。4月以降、バスの運行時刻が変更になる場合がございます。まことにお手数ですが、(財)舞台芸術財団演劇人会議 (Phone 0763-68-2356 & 2216) にご確認の上お出かけください。

(財)舞台芸術財団演劇人会議

利賀事務所 〒939-2513 富山県東砺波郡利賀村上百瀬 Phone 0763-68-2356 & 2216
東京事務所 〒161-0033 東京都新宿区下落合2-14-19-302 Phone 03-3951-4843